

B-1 妊娠・出産・子育て支援の充実

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

すべての子どもが健やかに育ち、すべての家庭が安心して子育てできるまちを実現します。そのため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援体制を構築し、一人ひとりのニーズに応じたきめ細かなサービスを提供します。また、経済的負担の軽減と多様な子育てニーズへの対応により、子育て世帯の不安解消を図り、さらに地域全体で子育てを支える環境を整備します。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
妊娠・出産・子育てに対する不安の多様化	妊娠期から乳幼児期まで一貫した相談支援体制の充実により、子育て不安の解消と安心して子育てできる環境整備が必要です。
子育て世帯の経済的負担感の増大	経済的支援制度の充実と多様化するニーズへの対応により、子育て世帯の負担軽減と安心できる子育て環境の確保が必要です。
地域とのつながりの希薄化と孤立育児の増加	地域との連携強化と多様な交流機会の創出により、子育て世帯の孤立防止と地域全体での子育て支援体制の構築が必要です。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実	母子保健事業充実、伴走型相談支援体制強化、産後ケア推進、育児支援サービス提供	妊娠・出産・育児不安軽減、母子健康確保、子育て力向上
経済的負担軽減と多様なニーズに応じた支援	医療費助成拡充、保育料軽減、子育てに関する各種給付金支給、多様な保育サービス提供	経済的負担軽減、育児不安軽減、適切な養育環境の確保、生活の質の向上
地域と連携した子育て支援の推進	子育て支援センター運営、地域子育て活動支援、世代間交流促進、子育てサークル育成	地域連携強化、育児の孤立化防止、子育てネットワーク構築、地域活力向上

4 目指すSDGsのゴール



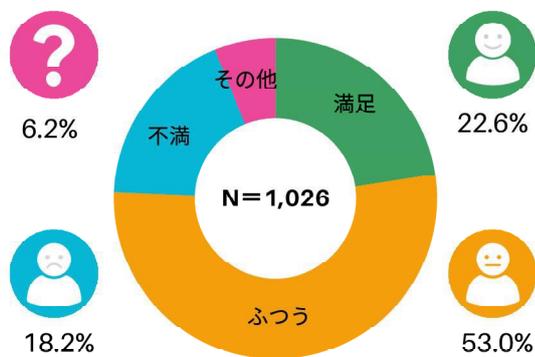
5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
第3期 曾於市子ども・子育て支援事業計画	少子化や核家族化に対応し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援や経済的負担軽減を図り、子どもが健やかに育ち家庭が安心して子育てできる環境を整える計画	2025～2029
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026～2030)

市民意識調査結果 (2024)

子育て支援・補助が手厚く、子育て世代や子供にやさしいまちになっているか？

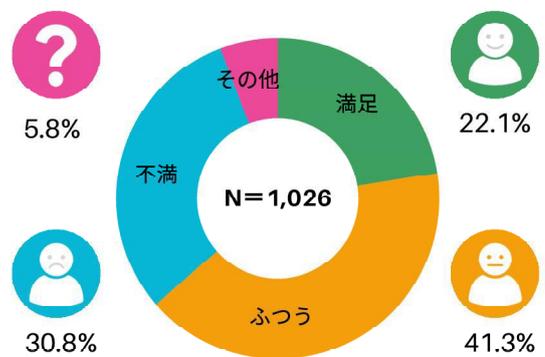
【問15-12満足度】



市民意識調査結果 (2024)

子どもの笑顔を見ることができるか？

【問15-32満足度】



B-2 保育・教育環境の向上

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

すべての子どもが質の高い保育・教育を受け、個性を伸ばしながら健やかに成長できるまちを実現します。そのため、多様化する保育ニーズに対応した柔軟なサービスを提供し、子どもの学びを支える充実した環境を整備します。また、教育内容と指導体制の充実により、確かな学力と豊かな人間性を育み、さらに地域・家庭との連携を深めることで、地域全体で子どもの成長を支える教育システムを構築します。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
保育ニーズの多様化と待機児童への対応要請	多様な働き方に対応した保育サービスの充実により、すべての子どもが適切な保育を受けられる環境整備が必要です。
教育環境の質向上に向けた期待	学習環境の整備と子育て支援機能の強化により、子どもの学びの質向上と保護者の安心確保を図ることが必要です。
個別最適化された教育への要請	教育内容の充実と指導体制の強化により、一人ひとりの個性と能力を伸ばす質の高い教育の実現が必要です。
地域・家庭との連携強化への期待	学校・家庭・地域の連携深化により、子どもの健全育成を地域全体で支える体制構築が必要です。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
多様なニーズに応じた保育サービスの充実	保育所等機能拡充、延長保育・一時保育充実、病後児保育対応、保育士確保・育成	保育サービス充実、良好な保育環境の確保、保育の質向上、保護者負担軽減
子どもの学び・子育てを支える環境整備	教育施設整備・改修、ICT環境充実、学習支援体制強化、安全・安心環境確保	学習環境向上、教育の質向上、安全性向上、学習意欲促進
教育内容・指導体制の充実	個別最適化学習推進、教職員研修充実、特別支援教育強化、キャリア教育推進	学力向上、個性伸長、教員資質向上、将来への意欲醸成
地域・家庭との連携支援	学校運営協議会活動支援、家庭教育支援、地域学校協働活動推進、情報共有体制強化	地域連携強化、家庭教育力向上、地域教育力活用、協働体制構築

4 目指すSDGsのゴール



5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
第3期 曾於市子ども・子育て支援事業計画	少子化や核家族化に対応し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援や経済的負担軽減を図り、子どもが健やかに育ち家庭が安心して子育てできる環境を整える計画	2025～2029
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026～2030)
曾於市学校給食センター基本計画	学校給食センターの老朽化対策や衛生管理の向上、災害時の食糧供給体制整備などを含めた新設・改修に向けた基本方針を示す計画	2019～
曾於市学校施設等長寿命化計画	教育環境の安全性確保と財政負担平準化を目指し、小中学校施設の長寿命化改修や建替えの優先順位を示したストックマネジメント計画	2025～
曾於市教育振興基本計画	国・県の教育振興計画を踏まえ、今後5年間の教育施策の目標や具体的取組を定め、学校教育や社会教育の充実を図る基本計画	2025～2029
曾於市教育大綱	教育振興に関する基本理念や目標、教育施策の方向性を定め、市民が生涯にわたり学び活躍できる環境づくりを推進する大綱	2025～2029
第3次曾於市子ども読書活動推進計画	子どもの読書意欲を高めるため、家庭・学校・地域が連携して読書環境を整備し、文化・学習の基礎づくりを支援する5か年の推進計画	2024～2028

B-3 生涯にわたる学習機会の提供

1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

市民一人ひとりが生涯にわたって学び続け、豊かな人生を送ることができるまちを実現します。そのため、多様な学習ニーズに対応した学習機会を提供し、個人の成長と地域の発展を支援します。また、文化・芸術・スポーツ活動の振興により、市民の生きがいと交流を促進し、さらに地域の文化・歴史資源を継承・活用することで、郷土愛の醸成と地域アイデンティティの確立を図ります。

2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
多様化する学習ニーズと学習機会への要請	年齢や関心に応じた多様な学習プログラムの充実により、市民の主体的な学習活動の促進と生涯学習社会の実現が必要です。
文化・芸術・スポーツ活動参加への関心拡大	文化・芸術・スポーツ活動の機会拡充と交流促進により、市民の生きがいづくりと健康増進、地域活性化の推進が必要です。
地域文化・歴史資源の継承	文化・歴史資源の保存・活用と次世代への継承により、郷土愛の醸成と地域の魅力発信、観光資源としての活用が必要です。

3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
地域の多様な学びの支援	生涯学習講座開催、公民館活動充実、図書館機能拡充、ICT活用学習推進	学習機会拡大、学習意欲向上、知識・技能習得、地域人材育成
文化・芸術・スポーツ活動への支援・交流促進	文化芸術活動支援、スポーツ環境整備、交流イベント開催、団体活動支援	文化芸術振興、スポーツ参加促進、交流機会拡大、健康増進
文化・歴史資源の継承・活用	文化財保護・活用、郷土史料収集・保存、伝統文化継承支援、観光資源化推進	文化財保護・活用、郷土史料収集・保存、伝統文化継承支援

4 目指すSDGsのゴール



5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
曾於市公園施設長寿命化計画	公園施設の老朽化に対応し、計画的な修繕や更新、利用環境の改善を通じて安全で魅力的な公園空間の継続的な提供を図る計画	2022～2031
公園事業の社会資本総合整備計画	公園整備事業に関する社会資本整備交付金の活用計画として、公園施設の整備や更新を通じて市民の憩いや地域交流の場の充実を図る	(2026～2030)
曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口減少対策や地域経済の活性化、子育て・働き方改革、移住定住促進など多分野の施策を総合的に実施し、まち・ひと・しごとの好循環を創出する戦略	(2026～2030)
曾於市教育大綱	教育振興に関する基本理念や目標、教育施策の方向性を定め、市民が生涯にわたり学び活躍できる環境づくりを推進する大綱	2025～2029
第3次曾於市子ども読書活動推進計画	子どもの読書意欲を高めるため、家庭・学校・地域が連携して読書環境を整備し、文化・学習の基礎づくりを支援する5か年の推進計画	2024～2028

[空から見た本市の様子]

